

平成19年度 技術特別講習会の紹介

昨年度「協会の技術力向上に向けて！」と題して、下記に示す講習会を実施しました。本年度は下水道事業の業務に携わっている方を対象に、協会員以外にも門戸を広げ実施致します。講義内容は概ね昨年度と変わりませんが、下水道における温暖化防止対策についても取り入れる予定です。ぜひ、ご参加下さい！

研修委員会

1. はじめに

下水道処理施設の維持管理業務は、業務の効率化、ライフサイクルコストの縮減や施設の延命化など、幅広い内容に変化してきています。

業務の円滑な遂行にあたっては、蓄積・共有してきた技術を基に、総合的な運転維持管理技術者としての技術力向上を図る必要があります。

当協会の主要活動の一つに「協会員の技術力向上」があります。その趣旨に沿って水質・電気・機械各々の3分野で経験・知識とも豊富な講師陣により毎年全国各地6地区で技術特別講習会を開催しています。又、講習会終了後のアンケートのみならず、平成19年度は各社に事前アンケートを実施して講義内容に反映させています。平成19年度の開催日、開催地は下記の通りです。

支部名	開催日	開催地
北海道支部	10月10日(木)	札幌市
東北支部	10月17日(木)	仙台市
東部支部	10月24日(木)	東京都
中部支部	10月31日(木)	名古屋市
西部支部	11月7日(木)	大阪市
九州支部	11月14日(木)	福岡市

(講習時間はいずれの会場も10～17時)

2. 講習内容

水質・電気・機械の3分野に分けて、基本的事項、最近の動向等をふまえた講義内容となっています。平成19年度のカリキュラムは下記の通りです。

1) 質的管理

①水の循環と下水道

- ②現行下水道法の制定と下水道の役割
 - ③下水道法関連法規概要
 - ④下水処理の質的管理
(水処理プロセスの管理他)
 - ⑤汚泥処理の質的管理
(濃縮、汚泥調質、脱水他)
 - ⑥アンケート要望事項
- 〈北海道支部〉
- ・糸状パルキングの原因と対策
 - ・処理過程における硫化水素対策
- 〈東北支部〉
- ・窒素・りん処理技術
 - ・OD法の運転管理
- 〈東部支部〉
- ・窒素・りん対策
 - ・放流水悪化時の原因分析と対応
- 〈中部支部〉
- ・閉鎖性水域と窒素・りん処理
 - ・異常流入時の適切な対応方法
- 〈西部支部〉
- ・窒素・りん処理技術
 - ・合流改善の動向(集中豪雨時対応)
- 〈九州支部〉
- ・閉鎖性水域と窒素・りん処理
 - ・SVI上昇の原因と対策

2) 電気設備

- ①電気の基礎知識
- ②電気設備の概要
(受変電設備、配電盤、非常用電源設備他)
- ③処理場の運転管理
(運転職員の役割・業務範囲他)
- ④電気設備の保守管理
(点検・保全の種類、保守点検の留意点)
- ⑤事故例と対策
 - ・事故例1(人身事故と停電)
 - ・事故例2(知識不足による感電事故)

- ・事故例3(調査不足による事故)
- ・事故をなくすために(管理体制の明確化)
- ・教育、訓練

⑥事例研究

- ⑦電気設備の腐食について(アンケート要望事項)
(腐食対策例、腐食による現象・事故例他)

3) 機械設備

①機械設備の運転管理

(沈砂池、ポンプ、水処理、汚泥処理)

②事例研究(安全衛生管理)

- ・破砕機修理時の硫化水素中毒
- ・Vベルト掛け汚泥ポンプ点検プリーへの巻込まれ
- ・水中ポンプ搬入口の蓋を開けた直後の開口部からの墜落

③参考資料(アンケート要望事項)

- ・大地震発生時の対応
- ・汚泥脱水機の設置動向

3. 今までの受講者数

平成元年に当協会が法人化されて以来19年間で既に5,646名が受講して終了証を交付されています。平成15年度以降の各支部別及び全国での受講者数は下記の表の通りですが、平成19年度はおかげ様で300人を超えることができました。ご協力ありがとうございました。

4. おわりに

これからも講師陣・研修委員会一丸となって内容の充実に努力していきますので、多数出席して戴ければ幸いです。ご協力宜しくお願いします。

(最近5年間の出席者数)

(単位:人)

年度	北海道支部	東北支部	東部支部	中部支部	西部支部	九州支部	全国
H15	40	33	82	32	51	36	274
16	37	32	76	46	52	41	284
17	42	34	84	35	53	45	293
18	38	33	67	33	73	50	294
19	37	38	68	41	69	53	306



札幌会場



大阪会場

社団法人 日本下水道処理施設管理業協会



〒101-0047 東京都千代田区内神田1-3-3 ダヴィンチ内神田ビル5階
 TEL;03-5281-9291 FAX;03-5281-2580
 E-mail;KYV04167@nifty.com
 URL;http://www.gesui-kanrikyo.or.jp/